



岩松の町並みや しらうお漁等の
伝統文化が息づく岩松川流域を守ります

山財ダム上流に乱舞する蛍



早春の訪れを知らせる
岩松川河口の“しらうお漁”



昔ながらの港町の面影を残す
岩松の町並み



世界に唯一 津島町に自生している
トキワバイカツツジ



山財ダム湖を“さき里湖”とも呼びます
岩松川河口の白さき



山財ダムは、洪水や濁水対策のために、
昭和56年(1981)3月に竣工しました。



～CONTENTS～



◎ 流域一覧図	3
◎ 流域の概要	4
◎ ダムの目的	5
◎ ダムの概要	7
◎ ダムのしごと	11
◎ ダムの設備	13
◎ ダムのあしあと	17
◎ ダム付近の観光地	18



流域一覽図



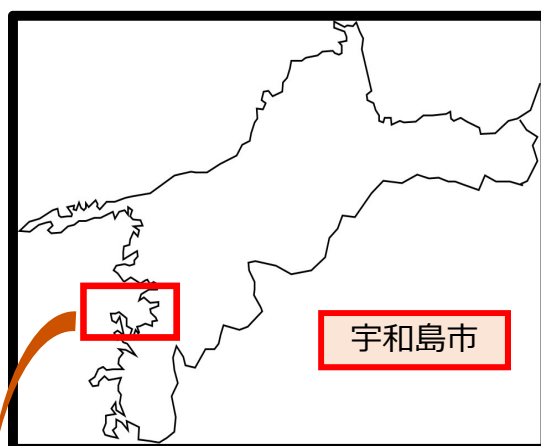
流域の概要

山財ダムがある御代の川は、愛媛県の南部に位置する岩松川の支流で、その源を鬼ヶ城山(標高1,151m)に発しており、流域面積31.2km²、流路延長9.7kmの2級河川です。

本川の岩松川は、古くから堤防決壊により、多くの被害を受けており、昭和18年7月の台風による豪雨出水では各所で溢水、その後も度々の氾濫によって甚大な被害を受けていました。

また、当時の上水道用水は、簡易水道および地下水等に依存していましたが、立地条件が狭長な半島により構成されているうえに、施設の老朽化と水脈変動による枯渇が年々進み、毎年のように断水を繰り返し、特に昭和42年、昭和44年の夏期には1か月余りの断水状態が続く惨状となりました。加えて、かんがい用水についても、みかん栽培の増加に伴って、不足している現状でした。

しかし、下流部河川沿岸は宇和島市津島町の中心地に位置し、人家が密集していたことから、河道改修は事実上困難な状況でした。このため、御代の川にダムを築造し、治水機能(洪水調節)と併せて利水機能(上水道用水、かんがい用水)を確保することとなりました。



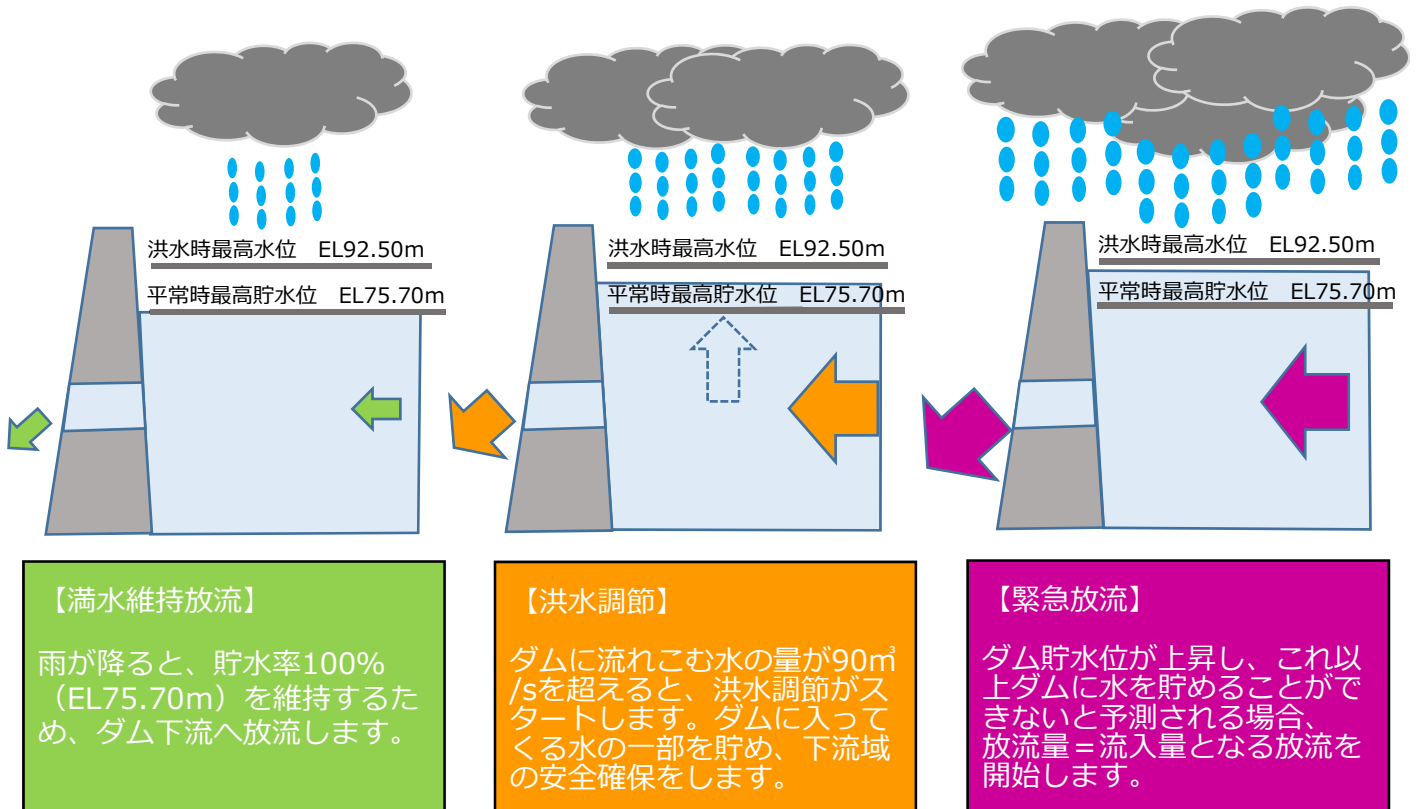
ダム

山財ダムは、

- 1 洪水の調節（満水維持放流⇒洪水調節⇒緊急放流）
 - 2 流水の正常な機能の維持
 - 3 上水道用水
 - 4 特定かんがい用水
- の確保を目的として造られた多目的ダムです。

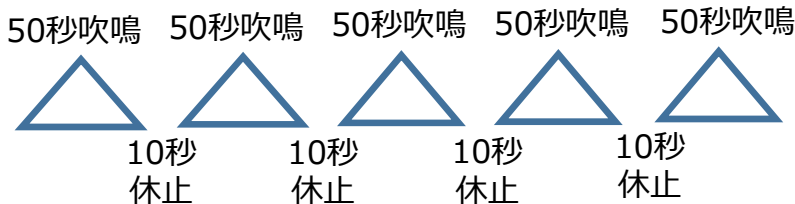
1. 洪水の調節（満水維持放流⇒洪水調節⇒緊急放流）

台風などにより大雨が降ると、河川から水が溢れ出して洪水を招くことがあります。そのためダムには流れ込む水を一時的に貯めて、安全な水量を流下させる“洪水調節機能”が求められます。山財ダムでは、大雨の時にダムに水を貯めつつ、河川への放流量を減らし、下流域の洪水被害を軽減します。

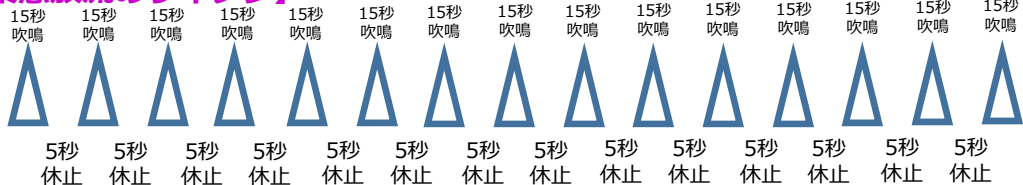


緊急放流を行う場合は、いつものサイレンとは違う鳴り方をします。通常の放流では「約50秒吹鳴→10秒休止」を5回繰り返しますが、緊急放流では「約15秒吹鳴→5秒休止」を15回繰り返します。
緊急放流のサイレンが聞こえたら、命を守る行動をとってください。

【通常の放流サイレン】

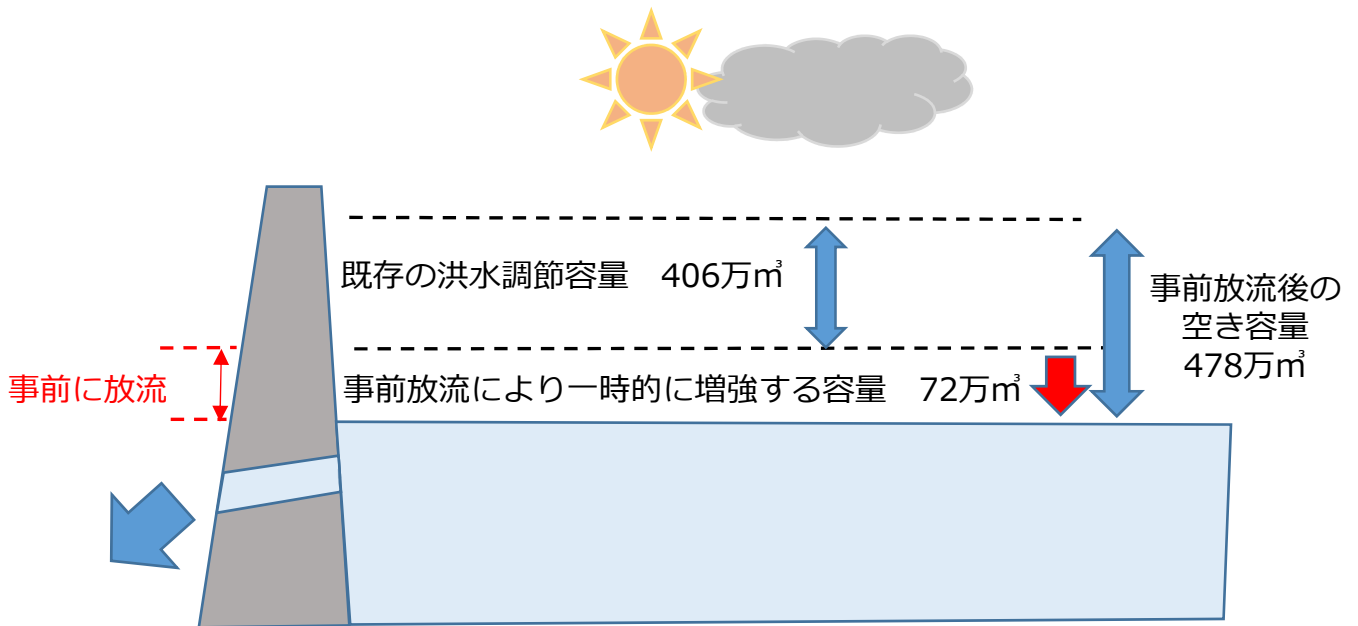


【緊急放流のサイレン】



【事前放流】

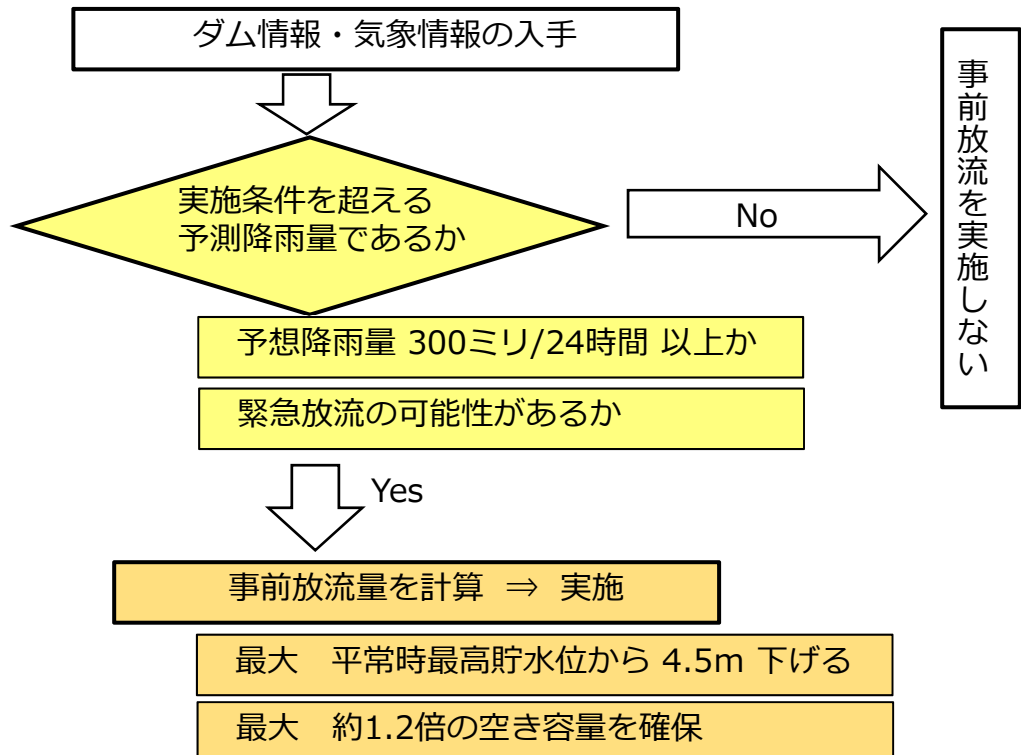
台風などの接近に伴い大雨が予想される場合に、事前にダム貯水水位を低下させ、空き容量（ダムに貯められる水量）を増加させることで、洪水被害の防止・軽減を図ります。



【事前放流】

洪水前にダムの利水容量内に貯留された流水を放流し、洪水調節機能を一時的に増強（約1.2倍）します。

【事前放流フロー】



2. 流水の正常な機能の維持

岩松川は県内有数の内水面漁業の漁場であるとともに、流域は津島町随一の水田地帯で、かんがい用水はすべて岩松川および各支川に依存しています。

何日も雨が降らなくなると、川の水が減り川底が見えて魚が住めなくなり、内水面漁業に大きな影響が出たり、田畑の水が取れなくなったりします。

このため、かんがい用水や河川の水質や漁業の保全のために、必要な水の量をダムから補給しています。

3. 上水道用水

私たちの暮らしに水は不可欠な存在です。生活に必要な水を確保するために、ダムは水を貯めています。山財ダムでは、宇和島市津島町、宇和海地区、愛南町内海地区の家庭や学校（約2万人）で使う上水道用水として、ダムに貯留した水を補給しています。

4. 特定かんがい用水

南予の各地域でみかんの栽培が盛んとなり、樹園地が年々増加する傾向でした。津島町及び宇和海地区の海岸部でも畑地がほとんどでしたが、みかん栽培に転向し、増加の一途をたどる傾向にありました。

しかし、かんがいの水源に恵まれず、用水が不足している状況でした。山財ダムの建設により、津島町及び宇和海地区のみかん園や畑（800ha）に対して、かんがい用水の供給が可能になりました。

ダムの概要

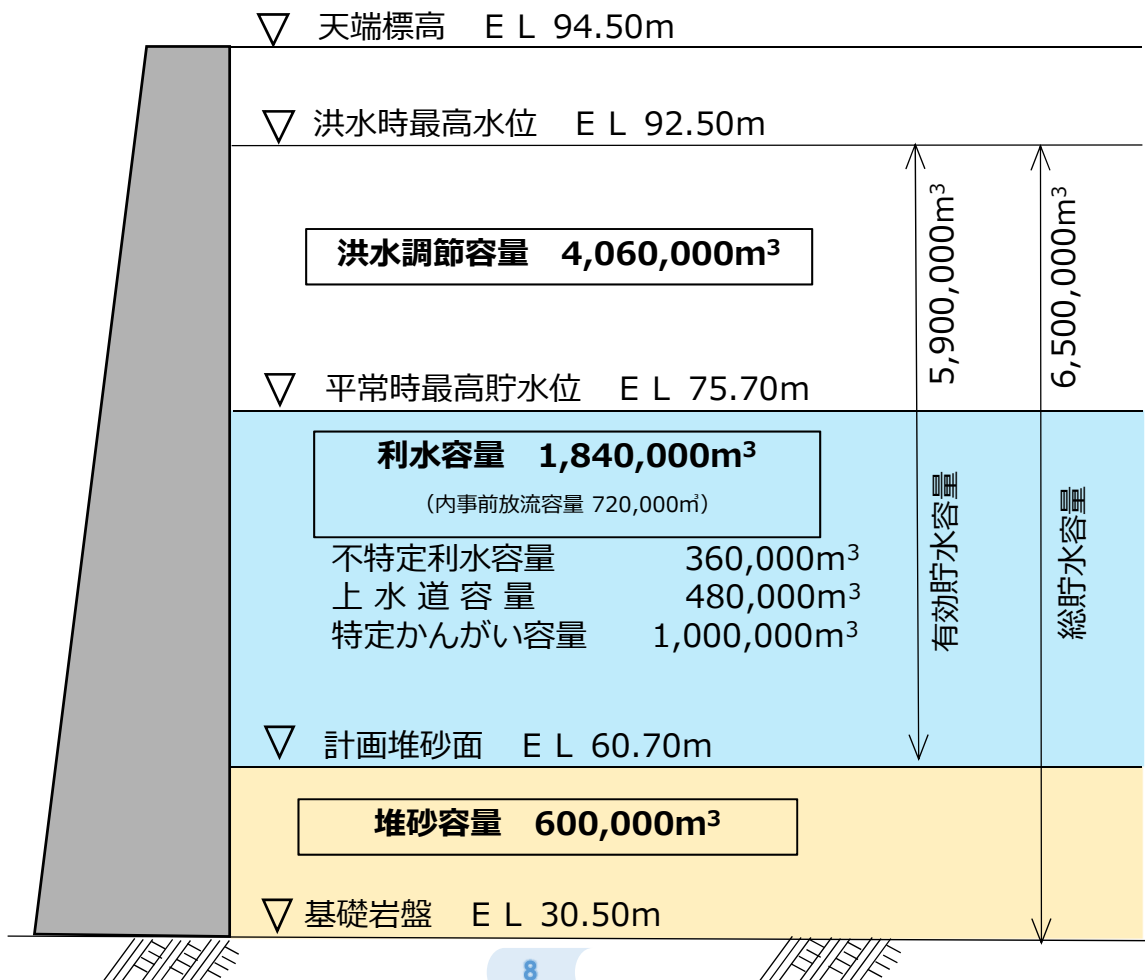
- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1. 実施調査着手 | 昭和47年4月 |
| 2. 建設開始 | 昭和49年4月 |
| 3. 山財ダム竣工 | 昭和56年3月 |
| 4. 管理者 | 愛媛県 |
| 5. ダムの型式 | 重力式コンクリート |
| 6. 建設費 | 98億1百万円 |
| 【内訳】 | |
| 治 水 | (87.74 %) |
| 上 水 道 | (10.90 %) |
| 特定かんがい | (1.36 %) |
| 7. 補償概要 | |
| 建 物 | (住家3戸、非住家9戸) |
| 道 路 | (県道4.1 km、林道2.7 km) |
| 土 地 | (宅地や田畑等371,954㎡) |



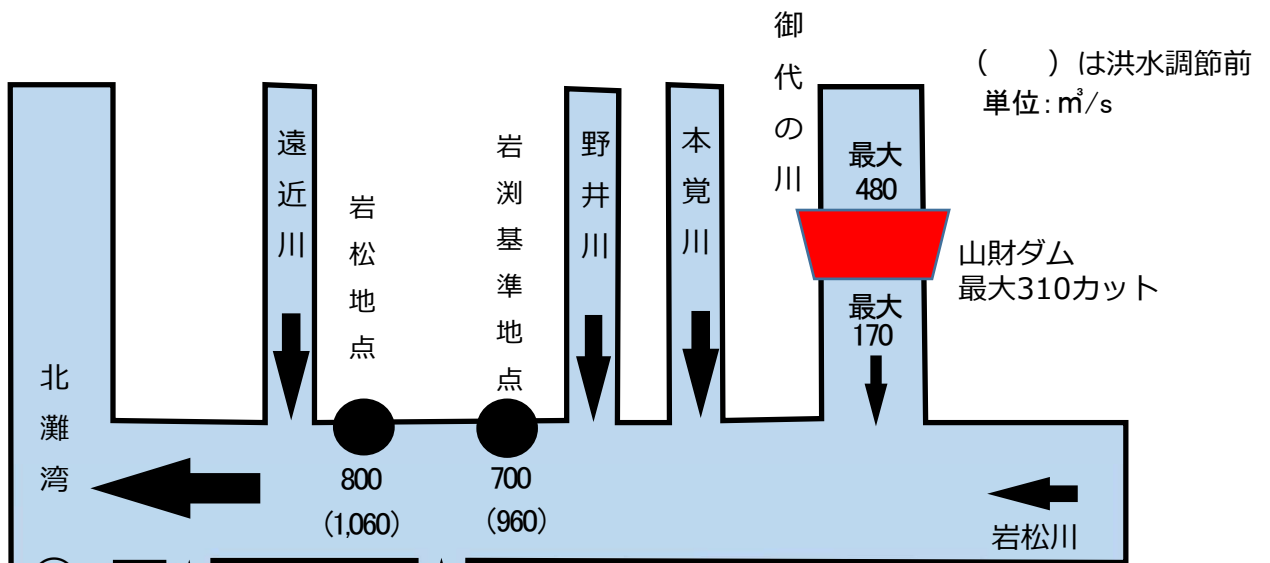
1. ダム諸元

貯水池		ダム		放流設備	
集水面積	29.4km ²	地質	砂岩	設計洪水流量	1,460m ³ /秒
湛水面積	0.3km ²	天端標高	EL 94.5m	計画高水流量	480m ³ /秒
総貯水容量	650万m ³	堤高	64.0m	計画放流量	170m ³ /秒
洪水調節容量	406万m ³	堤頂長	205.0m	非常用放流設備	ローラーゲート 2門
事前放流容量 (利水容量の一部)	72万m ³	天端幅	4.0m	主放流設備	高圧ラジアルゲート 1門
利水容量	184万m ³	上流勾配	EL50.0以上鉛直 EL50.0以下 1:0.2	自由越流設備	平常時最高貯水位維持放流管 1門
堆砂容量	60万m ³	下流勾配	1:0.85	利水放流設備	シリンダーゲート 1基
洪水時最高水位	EL 92.5m	堤体積	20.2千m ³		ホロージェットバルブ 1基
平常時最高貯水位	EL 75.7m				
事前放流下限水位	EL 71.2m				

2. 貯水池容量配分図

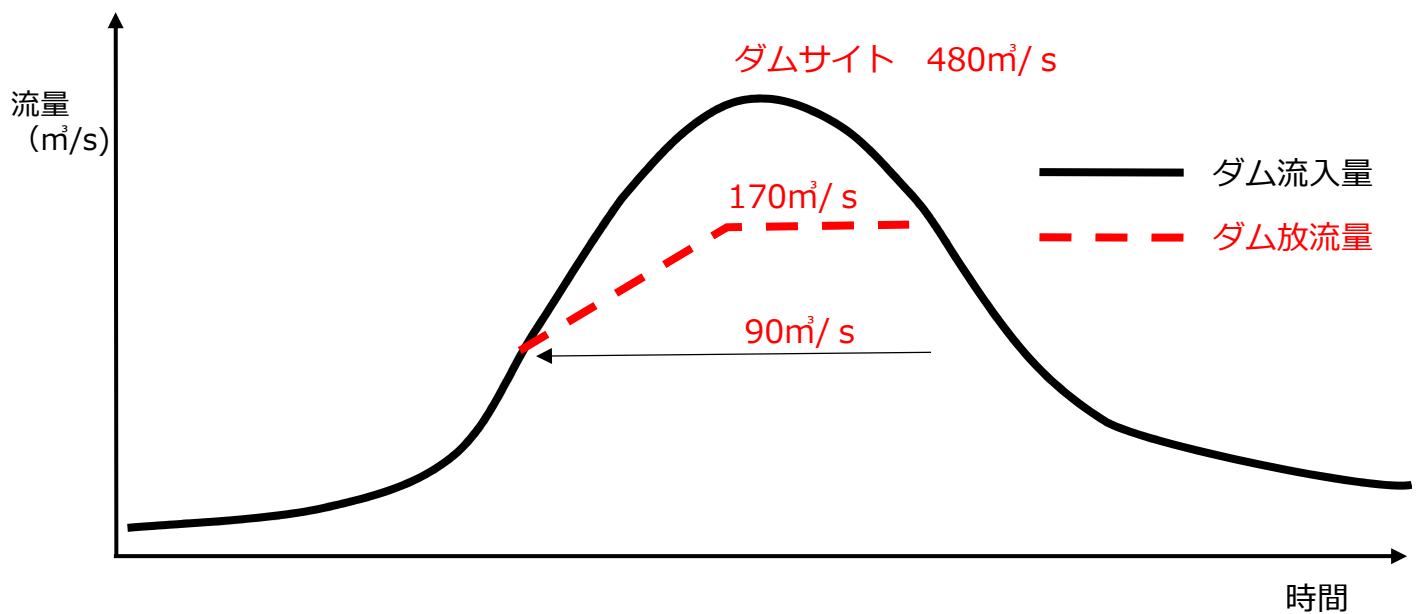


3. 計画高水流量配分図



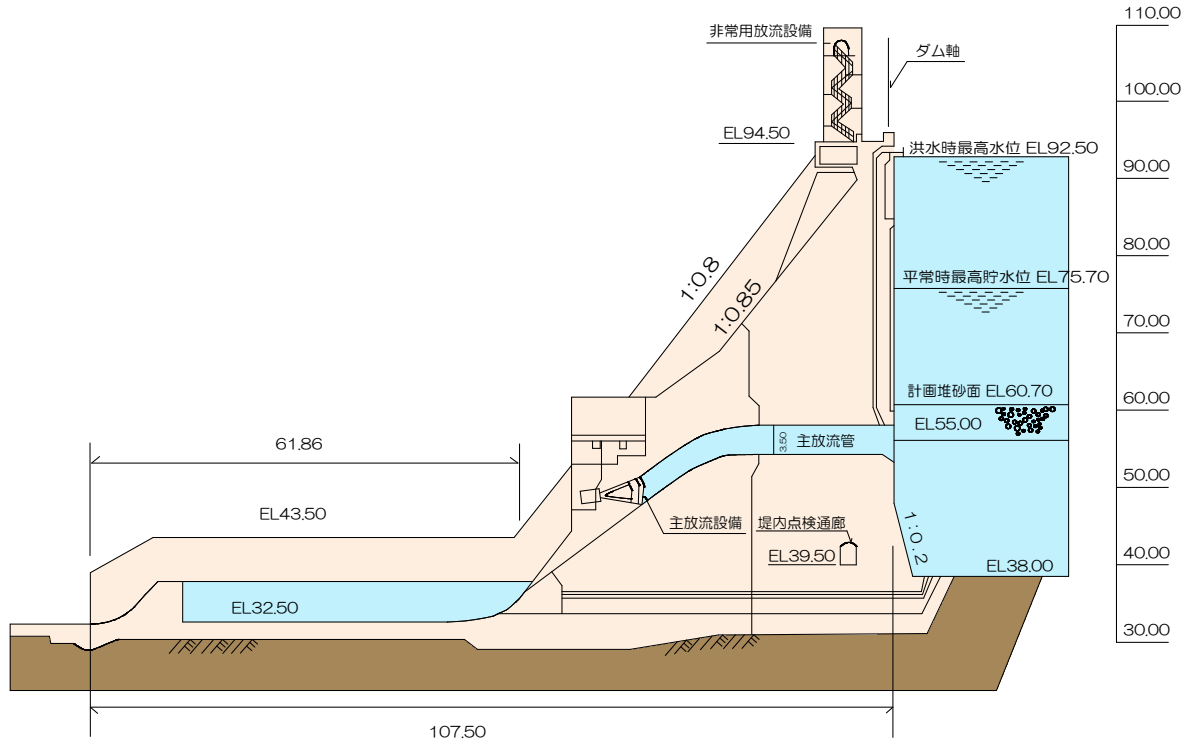
(二) 岩松川 津島大橋付近

● 洪水調節図 (イメージ図)

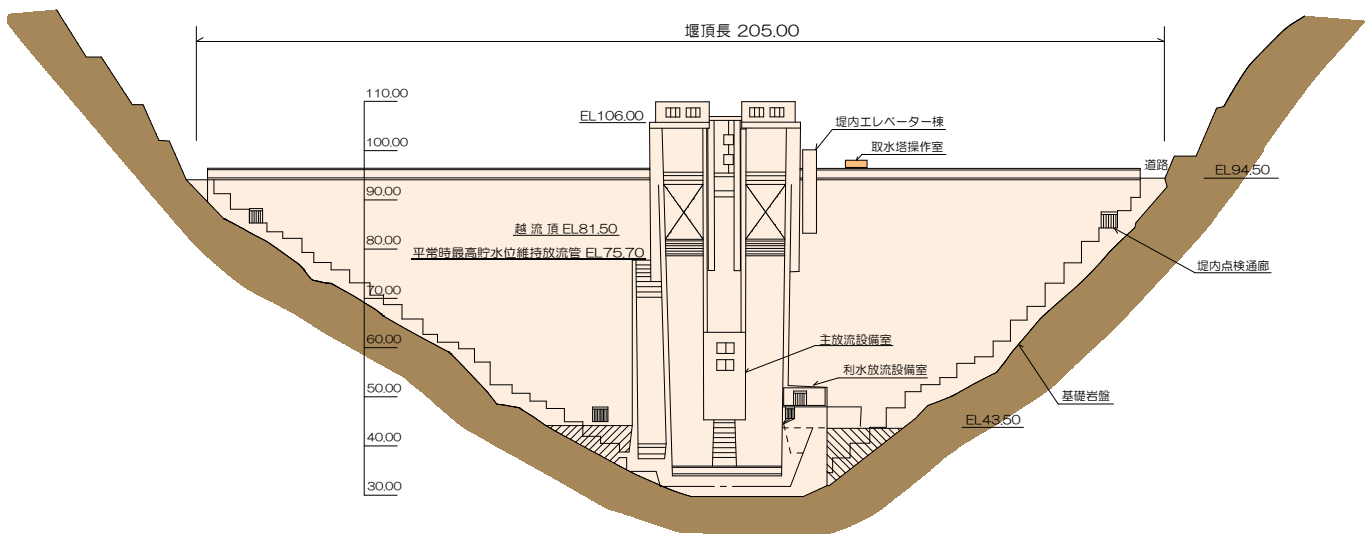


4. ダム標準図

標準断面図



正面図 (下流側)



ダムのしごと

1. 平常時の業務

ダムと貯水池に異常がないか観測、点検、維持等の作業を行っています。



【揚圧力測定】

ダムの下から押し上げる力を測定します。



【漏水量観測】

ダムの下やダムの継ぎ目から染み出る水の量を測定します。



【水位計点検】

水位を測定するフロートの位置や機器の動きを点検します。



【放流設備点検】

ゲートの部材やローラーに異常がないか点検します。



【電気通信施設の点検】

テレメーターやデータの通信施設を点検します。



【流木及びゴミの除去】

貯水池に流れてきた流木やゴミを取り除いています。

2. 洪水時の業務

みなさんは、命を守る行動をお願いします！



【洪水警戒体制をとる】

台風進路や大雨情報を収集し、洪水に警戒します。



【放流計画の決定】

ダムへの流入量などを検討し、放流計画を決定します。



【ダム下流のパトロール】

河川の安全を確認し、放流開始をお知らせします。



【住民への周知】

市役所・消防署・警察署・報道機関などに放流開始をお知らせします。



【ゲート操作開始】

河川の安全・放流開始の周知が完了すれば、流下開始します。



【ゲート操作終了】

雨がやみ、洪水の危険性がなくなれば、ダムからの流下を終了します。

大雨の情報！

大雨注意報

大雨警報

台風接近情報

前線情報

ゲリラ豪雨

洪水警戒体制

雨の情報

流入量の予測

事前放流の判断

放流計画の決定

ゲート操作によるダムからの流下開始前

ダム下流の安全確認パトロール・住民への周知

一般へのメール配信

関係機関及び報道機関等への連絡

サイレンやスピーカーの放流警報

ゲート操作によるダムからの流下開始

ゲート操作開始

降り続く大雨

ダムにこれ以上水を貯められなくなると予測

緊急放流の予告

ホットライン（電話）による市と警察署への予告連絡

緊急放流開始概ね 1 時間前

ダム下流の安全確認パトロール・住民への予告周知

サイレンやスピーカの予告警報

関係機関及び報道機関等への予告連絡

一般への予告メール配信

緊急放流の開始

ゲート操作開始

サイレンやスピーカの開始警報

ホットライン（電話）による市と警察署への開始連絡

関係機関及び報道機関等への開始連絡

一般への開始メール配信

ゲート操作によるダムからの流下終了

ゲート操作終了

関係機関及び報道機関等への終了連絡

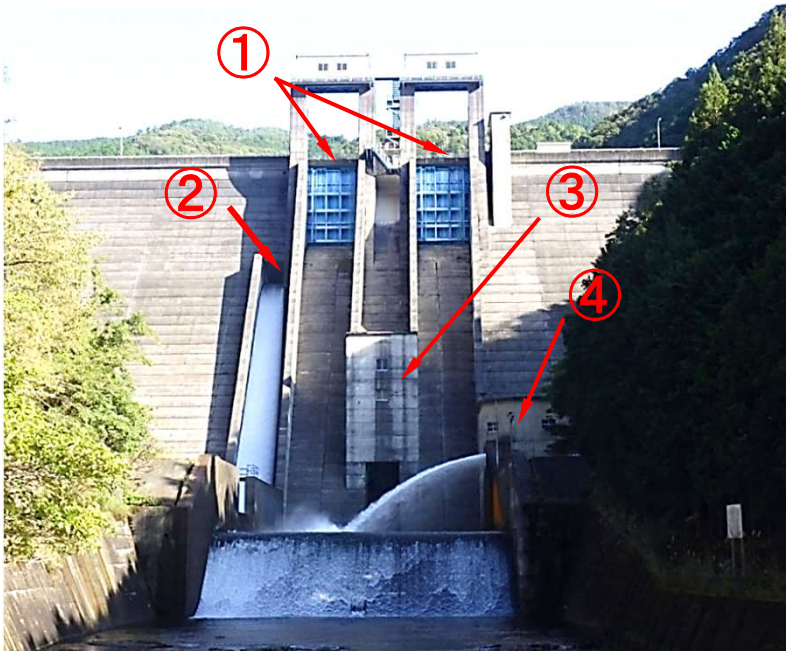
一般への終了メール配信



危険度上昇

ダム設備

1. 放流設備



① クレストゲート

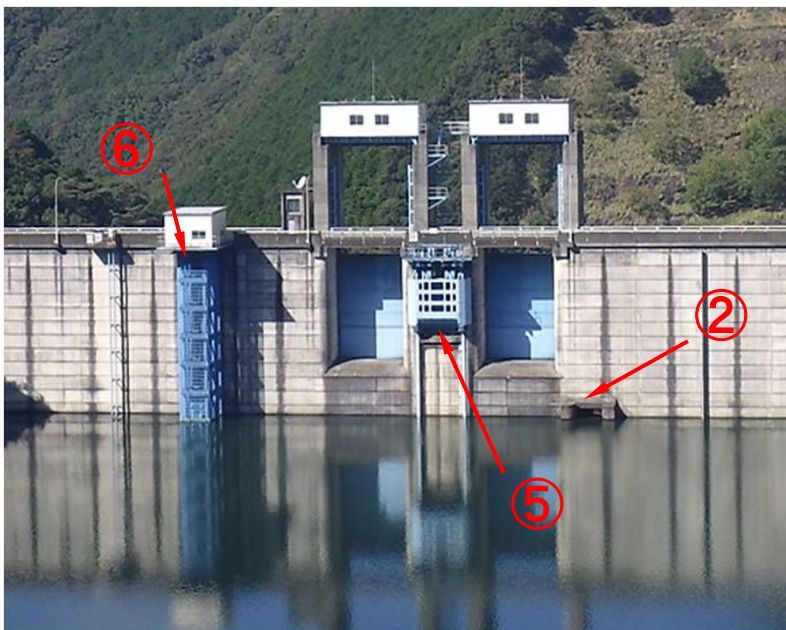
洪水時の洪水調節に使用するゲートで、多量の水を放流することができます。(最大放流量1,280m³/s)

② 平常時最高貯水位維持放流管

平常時最高貯水位を維持するための放流口です。

③ コンジットゲート

ダムの内部に設置してある油圧式のゲートで小さい出水時の流量調節に使用します。(最大放流量142m³/s)



④ ホロージェットバルブ

平常時にダムから放流する設備で、河川維持用水、既得用水の調節を行います。(最大放流量2.5m³/s)



⑥ シリンダーゲート

貯水池の水温や水質の状況に応じ取水する深さを選択することができます。

⑤ 副ゲート

コンジットパイプの上流側に設置してあり、コンジットゲートおよびコンジットパイプの点検時に使用します。

2. その他管理施設

管理事務所

鉄筋3階建です。
3階は執務室及び操作室、2階は宿直室、1階は駐車スペースとなっています。



操作室

ダムに設置している各ゲートの操作、気象・水文観測及び放流時の警報等の遠隔制御を行います。



雨量観測局

ダム流域に観測局を設置して、テレメータと有線で管理事務所にデータを送っています。



ダム放流警報(放送)局

ダムからの放流を知らせるため、管理事務所とダム下流域に設置しています。



水位観測局

上流と下流に観測局を設置して、テレメータと有線で管理事務所にデータを送っています。



ダム放流警報板

ダム下流沿いに警報標識を設置して、地域住民に放送時のサイレンの鳴り方等を周知しています。



塵芥処理施設(網場)

貯水池に流れ込んだ流木、ゴミ等をゲートの上流域で一時的に集めるための設備です。



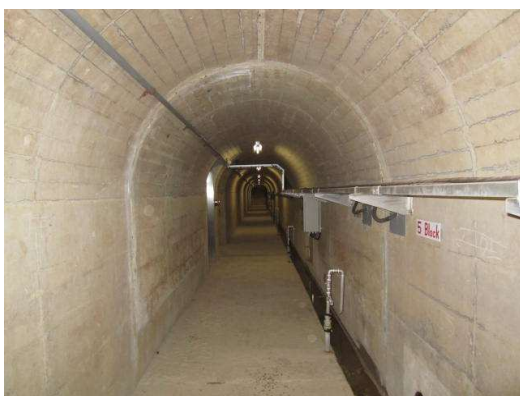
艇庫

ダム湖のパトロール等を行うための船を保管しています。



監査廊

堤体内の点検やゲート室等へ通じるためのトンネル状の通路です。



カメラ

ダムの上流や下流の状況を確認します。



たわみ計

ダム堤体のたわみを測定します。



揚圧力計

ダムを押し上げる力(揚圧力)を測定します。

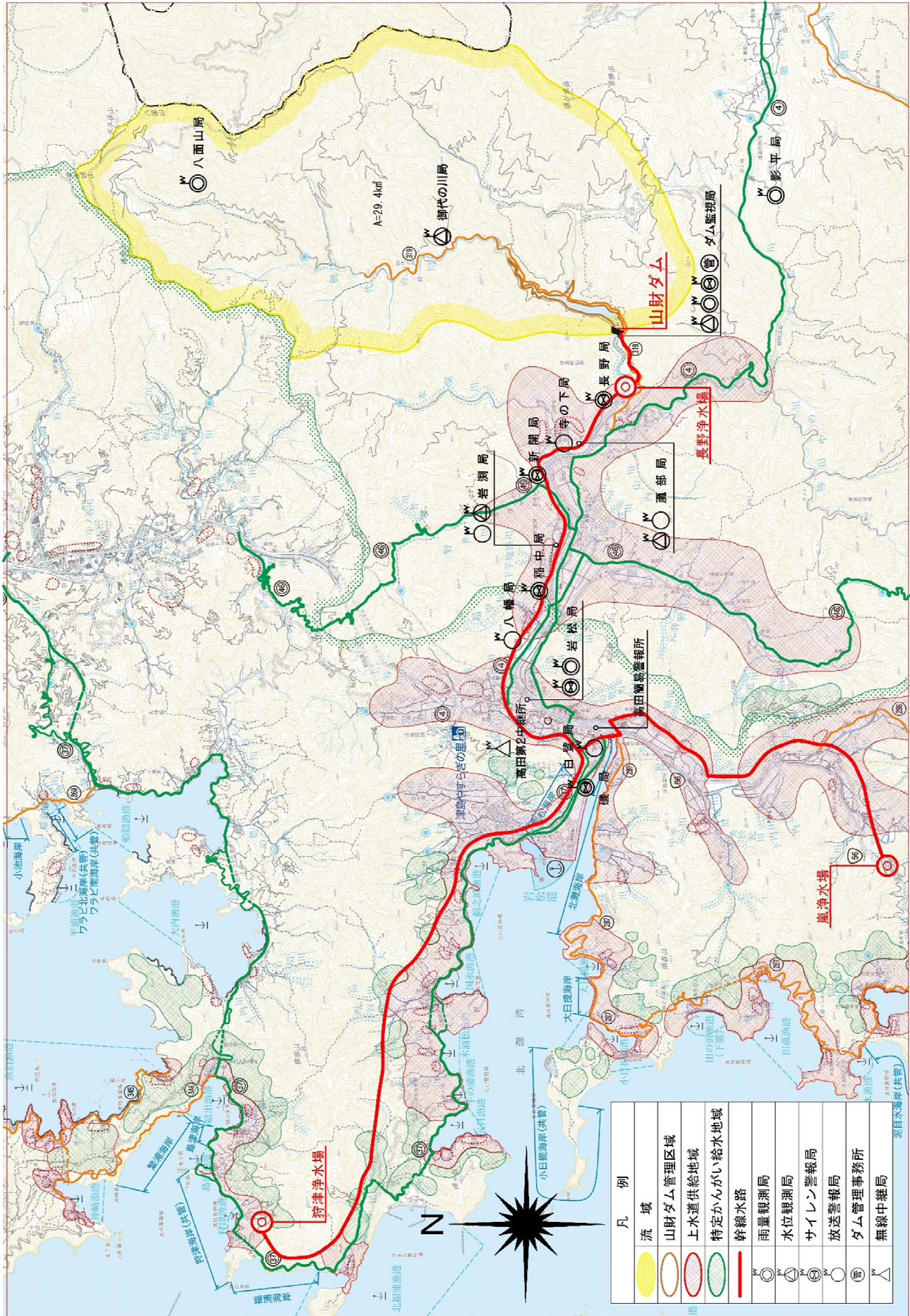


漏水量計

ダム堤体の継ぎ目などからしみ出る水の量を測定します。



3. 施設の位置図



ダムの あしあと

着工前(1976)



竣工(1981)



安全祈願



掘削状況(発破)



竣工式



①コンクリート1万m³打設



②コンクリート5万m³打設



③コンクリート15万m³打設



④コンクリート20万m³打設



⑤コンクリート打設完了



ダム付近の観光地

●津島やすらぎの里

津島やすらぎの里は、健康・福祉・交流をテーマにし、良質の源泉があふれる「熱田温泉」を核とした温泉型複合施設（休館中）であり、“湯〜ったり、の〜んびり”湯に浸かれば、体が癒され、心も満たされます。

また、特産品販売所「てんやわんや市」では、新鮮な津島の特産品の数々が販売されています。



●南楽園

壮大なスケールを誇る日本庭園、南楽園。総面積15.3haの広大な園内は、池泉廻遊式日本庭園を中心に「山・里・町・海」のゾーンが設けられ、季節ごとに趣の異なった花たちが彩りを添えています。1月の寒椿に始まり、梅、サツキ、菖蒲、紅葉、サザンカなどが訪れる人の目を楽しませてくれます。



●祓川温泉

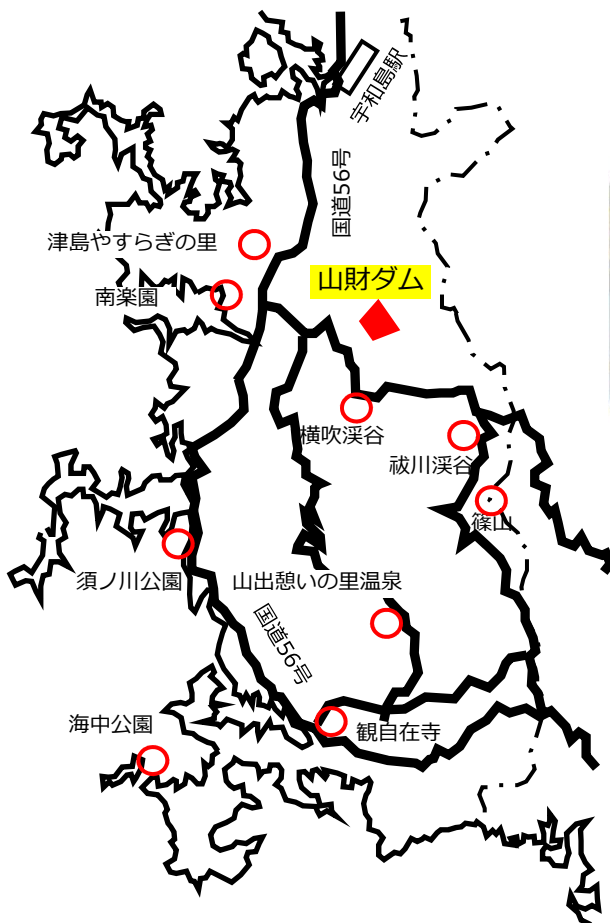
山あいを流れる水は、やがて川をつくり、大洋に注いでいく…。南予の名山、霊峰篠山を源として松田川を流れる祓川渓谷。侵食された谷が美しい渓谷美を見せてくれます。近くには、ロッジ風の祓川温泉もあり、自然の中でリラックスした体にやすらぎを与えてくれます。



●岩松川しらうお漁

「しらうお」（地元では“しらうお”と呼ぶ）はハゼ科の魚で、1月から2月にかけて産卵のため岩松川に上がってきます。昔ながらの手引き網で漁獲する風景は、新春の町の風物詩です。食べ方はなんと言っても“おどりぐい”。

また、吸物やてんぷらも人気です。漁の季節に合わせてイベントも開催され、県内外からの観光客で賑います。



●アケボノツツジ(篠山)

神秘的で歴史のロマン漂う霊峰篠山。山頂付近は高山植物と野鳥の宝庫として知られています。

原生林の間にはアケボノツツジやシャクナゲが群生し、4月から5月中旬にかけて美しい花を開花させます。駐車場からは約40分で山頂まで登ることができ、花の開花時には、多くの登山者が訪れます。





～ ダムカードを配布しています ～

ダムのことをより知っていただこうと、平成19年より「ダムカード」を作成し、ダムを訪問した方に配布（お一人様一枚）しています。

カードの大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものにしており、表面はダムの写真、裏面はダムの型式や貯水池の容量といった基本的な情報から、当該施設のこだわり技術や施設もしくは周辺の情報（ランダム情報）を載せています。



【ダムカードの配布時間】

午前9時～午後5時
(土・日・祝祭日を含む)

川の防災情報をリアルタイムでお届けします

かわ

えひめ河川メール

【登録無料】



登録はこちらから



愛媛県では、「降雨量が基準を超過」した場合や「河川の水位」を、みなさんがお使いの携帯電話、スマートフォンやパソコンにメール配信するサービスを提供しています。

通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方のご負担となります。

<http://www.kasenalarm.pref.ehime.jp>

えひめ河川メール 検索



愛媛県南予地方局 山財ダム管理事務所

〒798-3312 愛媛県宇和島市津島町山財4250

TEL 0895-32-4020 FAX 0895-32-4946

E-Mail sanzai-dam@pref.ehime.lg.jp



〔令和5年3月作製〕